

地区名 能代市・山本郡

所在地 能代市朴瀬

バス駐車 × 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

能代東ICから北進し、広域農道を進み東雲台地にあがると右側に見える。携帯電話の基地局付近が観察場所。

安全上の留意点

露頭自体は広くなく、死角となるような場所もないため観察はしやすい。しかし、畑に隣接しているのでむやみに踏み荒らさないこと、広域農道に飛び出さないことなどを指導するようにしたい。

観察のポイント

- ① 大きな地層の広がりを感じる。
- ② 地層が奥まで続いていること。
- ③ 川原で見るような円礫があること。
- ④ 角ばった火山岩が見あたらないこと。

地質年代

第四紀更新世後期(1~15万年前)

解説

段丘堆積物とみられ、観察地一帯は見渡す限り段丘である。露頭には、砂や泥、川原で見るような角のとれた礫があり水のはたらきでできた大地だと判断できる。今は畑として活用され、能代市の中では小高い丘となっているこの地が、昔は川が流れるような場所だったことは児童に驚きを呼ぶと思われる。

水平に堆積している様子がなく、礫も大きな順に並んでもいないのはなぜか考えさせても面白い。答えは分からないのでオープンエンドの授業が展開できる。

(筆者独自調査)

露頭概観

指導形式

B



川原で見るような丸い礫が固まって地層に入っている。こんな小高い丘に水の流れを感じさせる層があるのは、大地の壮大な歴史を考えさせる。



手に取ってみると意外に軽い。泥岩の礫が多かった。風化はそれほど進んでおらず、まさに川原の石といった感じ。



露頭が小さく気づきにくいですが、この基地局を目印にすると分かりやすい。東能代から北進すると右手側である。

